

# 地方自治の意義と若者の投票行動

人口減少社会における参政権の意義について考える

## 本日の流れ

- ・ 地方自治の基本的な意味と投票率の現状
- ・ なぜ若者世代は投票率が低いのか？
- ・ 少子高齢化を踏まえた考察

## 私たちのねらい

- ・ 大学で用いるテキストを参照、初歩的な「政治学」に触れる
- ・ 客観的なデータを用いる
- ・ 人口減少社会での「若者」のチャンスを考えてみる

# 選挙 = 多数決によるリーダー(政策)決定

## ○地方自治の意義

- ・「民主主義の学校」

→ 民主的な地方政府は政治参加の機会を身近に確保できる(トクヴィル/ブライス)

- ・ 効率性

→ 国の政策は平均的、標準的、時には硬直的。

自治体の政策は状況とニーズを的確にとらえられる可能性

## ○人はなぜ選挙で投票するのか？

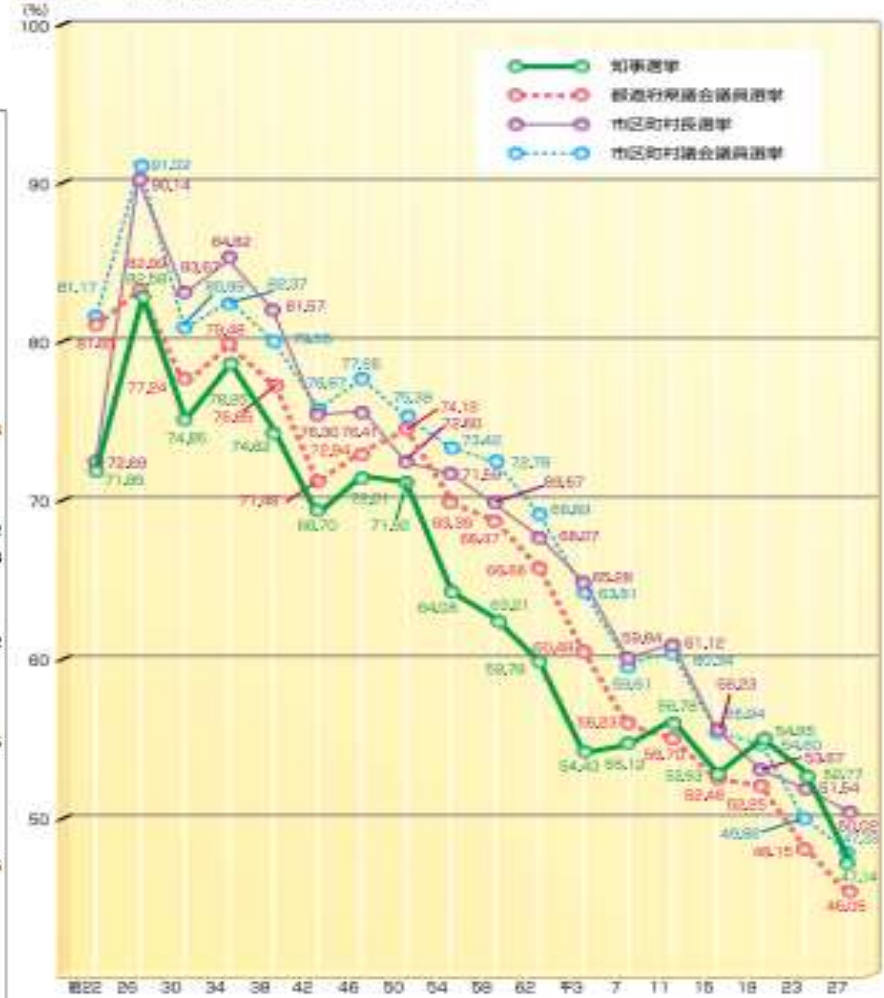
- ・ 政治的有効性感覚による。

→ 投票によって自らの希望を叶えられる、社会を動かすことができるという感覚。  
少なくとも、自分の地域について「こうであればいいな」と思う限り、それを投票によって示すことができるはずだけれど...

# 投票率の現状



1 統一地方選挙における投票率の推移



総務省『目で見える投票率』平成21年版より出典

特に若い世代や地方選挙について投票率が低くなる  
投票権を持つはずの人々は棄権

# 深刻化する少子高齢化をふまえて

## ○地方の強みを検討

- ・都市よりも有権者数が少ない  
→一票一票は投票結果を左右しやすいのではないか  
(有効性感覚はなくても、数字としての有効性は大都市の一票よりも重いはず)
- ・顔の見える町だからこそ...  
→横のつながりが作りやすいのではないか  
(人口の少ない地域では、組織や個人は顔を合わせてコミュニケーションを取りやすい)



## ○まとめ **ベイトマンの理論**を参考に

政治に関心がなくても、人とのコミュニケーションや議論は自他の利害を考慮し重ね合わせることを助け、町ならではの政策や投票行動に結び付けることができるのではないか。

**まずは身の回りのことを考え対話することが大切！**

ご清聴ありがとうございました！

参考資料

森本哲郎『現代日本の政治と政策』法律文化社 2006

川出良枝・谷口将紀『政治学』東京大学出版会 2012

小磯修二『地方が輝くために 創造と革新に向けての地域戦略  
15章』柏魯社 2013

# インバウンド

～外国人を津別町へ～

## 《インバウンドとは》

- インバウンド=《【インバウンドツーリズム】の略》外国人の訪日旅行。  
また、訪日旅行者。

『デジタル大辞泉』（Japan Knowledge）より

- 外国人に消費をしてもらう。
- 町の経済を盛り上げる。



# 目次

---

- 1.津別の今の現状
- 2.現状を踏まえた私たちの提案
- 3.プランについて
- 4.最終目標

## 《今の津別の現状》

- ・津別町公式サイト of 英語表記対応。
- ・「津別町の認知度が低いのでブランド化されない」  
市町村の魅力度ランキングにランクインしていない
- ・「様々な方面で活性化しているが、波及効果のある津別町として  
います1つにまとめたプロモーションができていない」

『津別町ウェブページ』 <https://town.tsubetsu.hokkaido.jp/index.html>  
2019/9/13最終閲覧

## 【津別の現状】

- ・外国人が知っているような有名なものが津別町に少ない
- ・**宿泊施設が少ない**『ランプの宿、ミートイン津別、でてこいランド』
- ・平成2年には8,061人であった人口は年々減少を続け、平成22年には5,646人と約20年間で2,415人の減(対平成2年度比▲30.1%)となっている。

『津別町 自治体概況参考資料』 [https://www.town.tsubetsu.hokkaido.jp/20machizukuri/sousei/files/tsubetsu\\_jititaigaikyo.pdf/2019/10/17](https://www.town.tsubetsu.hokkaido.jp/20machizukuri/sousei/files/tsubetsu_jititaigaikyo.pdf/2019/10/17)最終閲覧

## 【自分たちが思う津別の現状】

- 遊べる場所が少ない  
(カラオケ, 遊園地など)
- お店が少ない  
(飲食店, デパート, 服屋など)
- 宿泊する施設が少ない



<https://kiyotakumap.com/category/shopping/hopping-mall/2019.12.06> 閲覧



<https://chouseisan.com/1/post42212/2019.12.06> 閲覧



[https://www.tour.ne.jp/j\\_hotel/2019.12.06](https://www.tour.ne.jp/j_hotel/2019.12.06) 閲覧



<https://news.mynavi.jp/article/20130930-a080/2019.12.06> 閲覧

## 《津別町の現状を踏まえた私たちの提案》

この班の目標は、津別町に外国人観光客を増やすことです。

津別町の景気や企業の経営を良くするために、外国人だけでなく多くの人に来てもらえるよう、着地型観光を取り入れて、21世紀の森を使ったプロジェクトについて考えました。

→既存施設使用による節約、津別らしさ

1. 着地型観光について
2. 着地型観光の現状とこれからについて
3. 21世紀の森の施設の配置について

## 21世紀の森の位置



## 【着地型観光について】

---

着地型観光とは、旅行者の受入地域で開発される観光プログラムのことです。旅行者は、訪問先現地で集合、参加し、解散するような観光形態がとられます。特にインバウンドにおいては、観光立国のための重要課題である地方でのインバウンド需要創出に効果があるとされています。

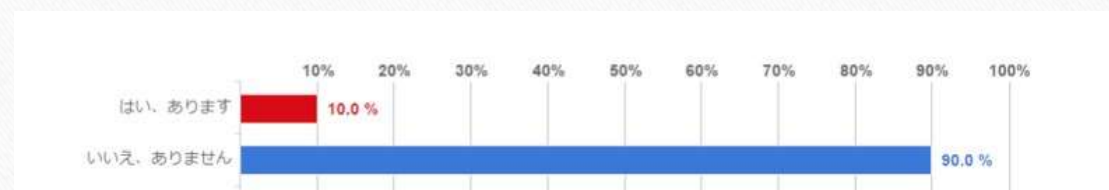
※観光立国・・・観光によって地域経済の活性化、  
雇用機会などの増大などを旨とする国

「訪日ラボ」より一部改変の上引用

<https://honichi.com/news/2016/11/16/chakuchigatakankotowa/2019.12.06> 閲覧

## < 着地型観光の現状とこれからについて >

「着地型ツアー(現地集合・現地解散型ツアー)に参加したことはありますか」



「攻城団」より

<https://kojodan.jp/blog/story/2824.html/2019.12.04> 閲覧

### 【課題】

着地型ツアーのパッケージは参加者が集まりにくく、参加者を集めるような方法があまりないということです。地域によっては着地型観光の成功例もありますが、少ないというのが現状です。また、そもそも「着地型ツアー」という名前の認知度が低いのも事実です。

### 【私たちができそうなこと】

着地型ツアーのプランを、役場の方などはもちろん、その地域の年配の方や子どもたちと連携して作る。プラン作成後、ポスターやチラシなどを作成し、全国の市町村公共施設や国外施設等に配布する。それらにより、着地型ツアーを多くの人に知ってもらうことです。



## 【21世紀の森の施設の配置】

私たちは、「何の建物を建てれば津別町に外国人観光客が増えるか」を考えた結果...

- ・アスレチックパーク
- ・温泉施設
- ・サイクリング用の自転車貸出場
- ・二階建ての誰でも利用できる自由施設



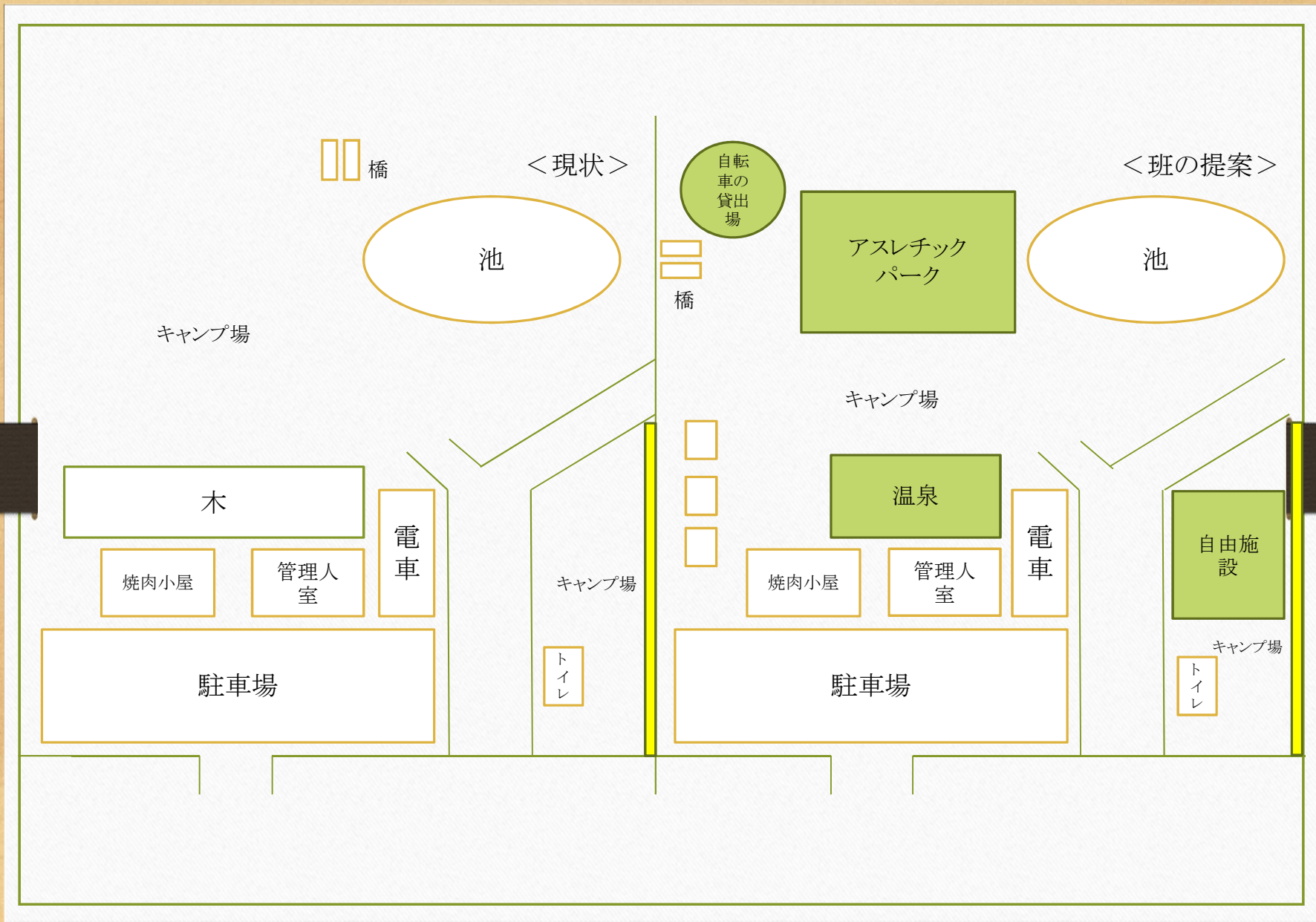
<https://travel-star.jp/posts/18925/2019.12.04> 閲覧



<https://www.travelbook.co.jp/topic/717/2019.12.04> 閲覧



<http://poppoonsen.com/onsen/2019.12.04> 閲覧



<現状>

<班の提案>

橋

自転車の貸出場

池

池

キャンプ場

キャンプ場

木

温泉

焼肉小屋

管理人室

電車

キャンプ場

焼肉小屋

管理人室

電車

自由施設

駐車場

トイレ

駐車場

トイレ

キャンプ場

## 《プランについて》

---

### 『ツアーをする』

貸し切りバスを出して、町の行事に参加してもらおう。

交通面で便利にして多くの人に来てもらうために、

- ▶車で来る人は駐車場。
- ▶車がない人はバスの本数を増やしてバスで来てもらう。

## • 一日のみの体験プラン(外国人向け)

- ▶ 山鳴太鼓(体験)
- ▶ ツクール(体験)
- ▶ グレステンスキー場(体験)
- ▶ ノノの森(見学)
- ▶ お昼は西洋軒

お昼の分とスキーのレンタル代は  
払ってもらおうそれ以外はタダ！！

## ・一泊二日のツアー

料金:大人15,000円 小人9000円

▶女満別空港からバスが出る

▶(例)一日目

13時に空港出発→ツクールに移動→ノンノの森に移動→21世紀の森に移動  
(もの作り体験) (クリンソウを見たり  
して自然を楽しむ) (ここからは自由)  
※冬はスキー

二日目

グレステンスキー場→西洋軒→女満別空港  
(スキー体験:夏スキーあり) (お昼) (解散)

# 最終目標

- (先ずは、)国内、国外問わず、町外の人に津別に来てもらう。
- 来て頂いた観光客の方に、満足感を伴う消費をしてもらえるようにして、津別の経済を盛り上げる。

ご清聴ありがとうございました。


# 移動の利便性を求めて

若者議会 公共交通班





# 目次

- 津別の公共交通の現状
  - バスと汽車のメリット、デメリット
  - ライドシェアについて
  - 天塩町の事例
  - 結論
- 

# 津別の公共交通の現状

鉄道が通っていたが34年前に廃止された。

現在は北見バスの郊外線の2本が通っている。

- ・ 北見駅美幌経由津別間
- ・ 北見駅開成峠経由津別間

町外に移動する場合車は不可欠



# バスのメリット、デメリット

## メリット

- ・通勤、通学時間を勉強や仮眠の時間に使える
- ・自分で運転する必要がない
- ・事故が起きる確率が比較的低い
- ・定期券などで通勤、通学費用を安くすることができる

## デメリット

- ・待ち時間がある
- ・車より遅い
- ・目的地が複数ある時不便に
- ・時間通りに来ないことも

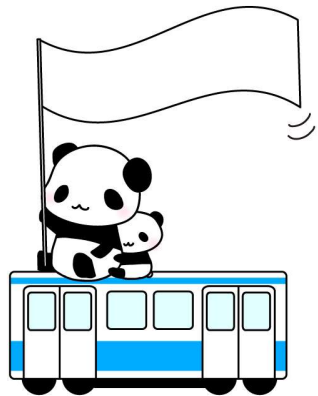
<http://iam-publicidad.org/article>



# 電車のメリット、デメリット

## メリット

- ・交通事故にあう確率が低い
- ・お酒を飲んでも大丈夫
- ・景観を楽しみながら
- ・遅延証明書



## デメリット

- ・線路を作るときに時間とお金がかかる
- ・駅と駅の距離が離れていると行くまでに時間がかかる
- ・乗降する時にホームと車両の間に隙間に躓いたりする危険性がある
- ・何らかのトラブルで電車が遅れることが多い

# ライドシェアとは何か

ライド(乗ること)をシェア(共有)すること。

自分で移動することが難しい人と運転手を結び付け、  
車移動をするサービスのこと。

カーシェアリングとの違いは車本体を貸し借りする  
か、

乗ること・移動することをシェアするか。

ライドシェアは2種類に分類されて、

配車型と相乗り型(カープール型)に分けられる



# 天塩町の事例

- ・ 相乗りマッチングサービス(notteco)と協力
- ・ スマホやPCが使えない住民のために電話乗車依頼
- ・ 相乗りツアーの実施
- ・ 老人クラブでの説明
- ・ 広告による周知
- ・ シェアリングエコノミーによる方策

<https://www.kantei.go.jp/>

かんたん・快適・安心・便利

天塩～稚内間  
相乗り交通

天塩町 × Notteco

初めての方 実施中

同乗したい  
まず 役場 2-1001  
にお電話ください  
※平日のみ8:30～17:30

ドライバー募集中!  
詳しくはコチラ

天塩～稚内 相乗り特設ページ <http://jp.notteco.jp/eshima/>

2024

# まとめ

最後に...

津別町の公共交通の現状を考え  
バスや電車のデメリットを補える

## ライドシェア

を津別町に取り入れるべき！

# 参考資料

津別町ホームページ

<https://www.town.tsubetsu.hokkaido.jp/>

天塩町ホームページ

<http://www.teshiotown.hokkaido.jp/>

北見バス公式サイト

<https://www.h-kitamibus.co.jp/>



ご清聴

ありがとうございました

A decorative graphic consisting of several parallel white lines of varying lengths, arranged in a diagonal pattern from the bottom-left towards the top-right of the slide.